

# 第60回大阪母性衛生学会学術集会プログラム

会 長 古山 将康 (医療法人藤井会石切生喜病院 名誉院長/大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学 特任教授)

学術集会長 渡邊 香織 (大阪府立大学大学院 看護学研究科 家族支援看護学領域 母性看護学・助産学分野 教授)

開催形式: 完全Webオンデマンド配信

配信期間: 2021年12月11日(土)12:00~26日(日)12:00

※日本専門医機構単位付与対象期間は、12月11日(土)12:00~17日(金)12:00の7日間となります。

テーマ :「ウイメンズヘルスにおける助産師の役割と教育」

参加費:

区分	金額	内訳
一般	5,000円	学術集会参加費4,000円+年会費1,000円
学生※1)	2,500円	学術集会参加費2,000円+年会費500円
大阪産婦人科医会会員※2)	4,000円	学術集会参加費4,000円

※1) 学生の方は、登録時に学生証のスキャンデータの添付が必要となります。ご準備のうえ参加登録を開始してください。

※2) 大阪産婦人科医会ご所属の医師は、年会費は徴収済みですので、弊会でのお支払いは不要でございます。

## 研修会

研修会1:「助産師教育の現状と臨床助産師に求められる教育的役割 —カリキュラム改正で何が変わる?—」

渡邊 香織先生

(大阪府立大学大学院 看護学研究科 家族支援看護学領域 母性看護学・助産学分野 教授)

※日本助産評価機構 個人認証事務局より助産実践能力習熟段階(クリニカルラダーCLoCMIP®)

レベルⅢの認証申請・更新に認められた必須研修「後輩指導・助産師教育」

※日本専門医機構 産婦人科領域講習

研修会2:「性暴力被害者支援の現状と課題 —性暴力救援センター・大阪SACHICOの取り組みから—」

生魚 かおり先生 (ウイメンズセンター大阪 HCPS 認定臨床アロマセラピスト)

※日本助産評価機構 個人認証事務局より助産実践能力習熟段階(クリニカルラダーCLoCMIP®)

レベルⅢの認証申請・更新のための選択研修

※日本専門医機構 共通講習(医療倫理)

※ 学会参加単位、日本専門医機構単位が必要な方は、上記期間内にWeb視聴ページへのログインおよび視聴を必ずお済ませください。

※ 設問回答が必要なセッションは設問回答まで必ずお済ませください。

※ 最後まで視聴完了していない講演は単位取得が出来ませんのでご注意ください。

視聴完了までお時間に余裕をお持ちください。

日本専門医機構単位付与対象期間:12月11日(土)12:00~17日(金)12:00

※ 日本専門医機構単位は、単位付与対象期間を過ぎると単位取得ができなくなります。

※ 日本専門医機構の共通講習の単位取得のためには、対象セッションを最後まで視聴し、設問回答(5問5択に80%以上正解すること)をもって単位を付与いたします。

視聴だけでは、単位付与対象になりませんので、ご注意ください。

設問は合格するまで何度でもご回答いただけます。

# 学術集会

## 【大阪母性衛生学会 2019 年度学術奨励賞】

出生早期の新生児血糖症例を経験して  
土居 暁(医療法人定生会谷口病院)

## 【大阪母性衛生学会 2019 年度竹村喬記念奨励賞】

高校生の妊孕性および性と生殖についての知識の現状  
松岡早紀子(聖バルナバ助産師学院)

### 【一般演題】

※○が発表者

#### 【助産師】

1. 開業助産師のソーシャル・キャピタル醸成に関わる要因 —交野市『産巢日』の事例から—  
○浅見恵梨子<sup>1,2)</sup>  
(甲南女子大学看護リハビリテーション学部<sup>1)</sup>, 一般社団法人大阪府助産師会<sup>2)</sup>)
2. 産科病院で働く助産師の職務満足に関する現状  
○島崎いず美<sup>1)</sup>, 今泉留美子<sup>1)</sup>, 高野裕里那<sup>1)</sup>, 富田友紀子<sup>1)</sup>, 森川 凜<sup>1)</sup>, 湯浅 莉子<sup>1)</sup>,  
屋敷 久美<sup>2)</sup>  
(聖バルナバ助産師学院第102回生<sup>1)</sup>, 聖バルナバ助産師学院教員<sup>2)</sup>)
3. 新型コロナウイルス感染拡大状況下における本学の助産学実習への対応と課題  
○竹 明美, 近澤 幸, 佐々木綾子  
(大阪医科薬科大学)

#### 【妊・産・褥婦・新生児】

4. アンケートを元にエジンバラ産後うつ自己評価表を照らし合わせた結果  
○永吉 彩実, 奥野 春奈  
(大阪暁明館病院)
5. 助産師の胎児超音波スキルの実態調査 ～助産師の胎児超音波研修構築に向けて～  
○金 英仙, 吉田 英美, 徳永 明美  
(医療法人竹村医学研究会(財団)小阪産病院)
6. 2週間健診までに児の体重減少が増加した背景  
○西 秋津, 土居 暁, 谷口 武  
(医療法人定生会谷口病院)
7. 分娩体位の違いによる母および児の予後について ～仰臥位分娩と側臥位分娩の比較～  
○久保田祐衣, 木内美菜子, 上野 宏美, 江口美智子, 谷口 武  
(医療法人定生会谷口病院)

## 8. 産後ケアの実践 ～利用者のニーズに応じたケア実践～

○大林 郁実, 倉島 梨花, 黒田 百加, 横浪 奈央, 向井亜希子, 實村 誉子  
(吹田徳洲会病院)

## 9. DVD 視聴による産前教室受講の効果と課題 ～感染対策をふまえたこれからの産前教室の在り方～

○岩本奈津子<sup>1)</sup>, 小堀 華奈<sup>1)</sup>, 辻 麻友子<sup>1)</sup>, 上田 芳子<sup>1)</sup>, 韓 里奈<sup>1)</sup>, 中西 裕香<sup>1)</sup>, 屋敷 久美<sup>2)</sup>  
(聖バルナバ助産師学院 102 回生<sup>1)</sup>, 聖バルナバ助産師学院教員<sup>2)</sup>)

## 10. 妊婦の感染予防行動の変化およびその情報源と知識の正確性についての実態

○石原 由紀<sup>1)</sup>, 今崎有貴歩<sup>1)</sup>, 上田 千紘<sup>1)</sup>, 久米 美穂<sup>1)</sup>, 西久保有里<sup>1)</sup>, 前田 真希<sup>1)</sup>, 山口はるな<sup>1)</sup>,  
渡邊 千智<sup>1)</sup>, 屋敷 久美<sup>2)</sup>  
(聖バルナバ助産師学院 102 回生<sup>1)</sup>, 聖バルナバ助産師学院教員<sup>2)</sup>)

## 11. COVID-19 陽性妊婦のメンタルヘルス

○川崎 志帆, 谷尾 敬, 間中麻衣子, 沖 絵梨, 保科 涼真, 本久 智賀, 中田 真一, 康 文豪  
(地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪立十三市民病院)

## **【中高年・更年期女性】**

## 12. 更年期症状による受診の有無に関連する要因と看護支援についての文献検討

○西本 真子<sup>1)</sup>, 田中 里奈<sup>1)</sup>, 中野 堇<sup>1)</sup>, 高 知恵<sup>2)</sup>  
(大阪府立大学地域保健学域看護学類 7 期生<sup>1)</sup>, 大阪府立大学地域保健学域看護学類<sup>2)</sup>)

## 13. 中高年女性の帯状疱疹の認知度に関する調査 —自由記載の分析—

○田中 恵子, 藤野 百合, 生駒 妙香, 石田美佳子, 寺本久美子  
(千里金蘭大学看護学部)

**総会(2020 年度決算報告)**

以上